

## 富山市定例市長記者会見（令和4年11月15日）

### ■冒頭

市長

本日も、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。それでは定例記者会見を始めさせていただきます。

### ■第27回みんなの消費生活展の開催について

市長

富山市では、消費生活に役立つ知識を普及し、市民の消費生活の向上を図るため、みんなの消費生活展を開催します。

この消費生活展は平成7年から始まり、今回で27回目を迎えますが、新型コロナウイルス感染症の流行により、一昨年は中止、昨年は大幅に縮小しての開催となりましたので、3年ぶりの通常開催となります。今年、「新しい日常の中、みんなで築く持続可能な消費生活」をテーマに、消費生活と密接に関係する環境問題を大きく取り上げます。

開催日時は、12月10日（土）午前10時から午後1時まで、場所は富山市民プラザとなります。

消費生活展の内容としましては、消費者団体による、冷蔵庫の在庫チェックから気づいた食品ロスを減らす工夫や、大量に廃棄される衣服の削減をテーマとした展示、各種団体による啓発コーナーをはじめ、リサイクル品抽選販売やフードドライブなどを予定しております。

各展示やコーナーには、展示内容に関するクイズを掲示して、来場者はクイズを解きながら会場を巡り、消費生活や環境問題について、楽しく学べるようになっております。

入場無料、事前申込も不要ですので、ご家族、ご友人お誘いあわせのう

え、お気軽に立ち寄っていただければと考えております。

## ■ A I 顔認証システムを活用した社会実験について

市長

バス利用者の更なる利便性の向上や、非接触による接触機会の低減、キャッシュレスによる効率化を図るため、市営八尾コミュニティバスの一部の路線に、A I 顔認証システムを導入し、その効果を検証する社会実験を実施いたします。

このA I 顔認証システムにつきましては、顔画像やクレジットカード情報を事前登録することで、バスの降車時に、A I 顔認証システムを搭載したタブレットで顔認証され、運賃の支払いが決済されるサービスであります。支払いは、1カ月分まとめてクレジットカード決済となります。

この社会実験の実施期間につきましては、令和4年12月から令和5年2月までの3カ月間で、実施路線は八尾コミュニティバスの八尾環状線となります。

本市では、この社会実験に協力していただけるモニターを50名程度募集することとしております。市ホームページや、広報とやま、八尾コミュニティバスでのチラシ配布等により周知しますので、ぜひ、この機会に新たなシステムを体感いただければ幸いとと考えております。

なお、モニターにご協力いただいた方への特典として、八尾ゆめの森ゆうゆう館の日帰り入浴割引券を進呈いたします。

本市としましては、A I による顔認証など最先端技術を積極的に活用することで、より多くの方々が公共交通を快適に利用して移動することができるよう、今後アンケートなどでその効果を検証するとともに、さらなる利便性の向上を図り、誰もが暮らしやすさを実感できる都市の実現に努めてまいりたいと考えております。

## ■ 報告事項（新型コロナウイルス感染症関係）

市長

新型コロナウイルスの感染状況については、県内においても、全国と同様に増加傾向となっております。今後、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行も懸念されておりますことから早めのワクチン接種をお願いいたします。

なお、今年から、新型コロナウイルスワクチンとインフルエンザワクチンの同時接種が可能となっております。

また、市民の皆様には、発熱外来を速やかに受診できない場合に備えて、ご自身で感染確認ができる新型コロナ抗原検査キットと自宅療養に必要な解熱鎮痛薬や食料などのご準備をお願いいたします。これは、先般、県で発表されたとおりでありますので、市民の皆さんもぜひ（事前の準備を）お願いします。

次に、新型コロナウイルスワクチンの接種についてご報告いたします。

本市における接種状況につきましては、お手元の資料のとおりですが、現在接種を進めているオミクロン株対応ワクチンを接種された方は11月14日現在で45,972人、全人口に対する接種率は11.1%となっております。

オミクロン株対応ワクチンにつきましては、接種間隔が3カ月に短縮されたことにより、2回接種を完了した12歳以上の方のほとんどが、年内にオミクロン株対応ワクチンを接種することが可能となっており、接種券を順次発送しているところであります。

今月に入ってから、高齢者の方が5回目の接種を受けられる件数が増えてまいりました。しかし、接種枠につきましては、市内医療機関のご協力により、十分にご用意できている状況であります。市民の皆様におかれましては、接種券が届きましたら、今後の感染拡大に備えるためにも、早めの接種をご検討いただければと思います。

私からは、以上です。

---

## ■ 質疑応答

記者

10月に発表された富山気象台の予報によると、今冬の降雪量は平年並みか平年より多くなることが見込まれています。警報級の雪が降った場合、地域による除雪が重要となりますが、担い手不足の問題をどのようにお考えですか。また、今年度から市のホームページ上で除雪機械の位置情報の公開を始めますが、ICTを活用した除雪の効率化に対する期待を教えてください。

市長

本市が目指す「雪に強いまちづくり」につきましては、市民と行政が協働して除排雪活動を展開することが重要になってきていると認識しています。

富山市では、町内会など地域が主体となって実施する地域ぐるみの除排雪活動に対し、除雪機械の貸付けを実施しております。町内会などのオペレーターが高齢化傾向にあるということも認識しており（ますが）、近年の大雪の影響もあって、申請数が増加しています。地域による除排雪活動を引き続き支援していくことが非常に重要であると考えております。

一方、除雪委託業者による除雪につきましては、除雪オペレーターの高齢化が進み、担い手不足が課題となっています。今年度から除雪作業に必要な資格取得に係る費用を補助する「除雪オペレーター育成支援事業」を創設し、新たに除雪作業に従事していただく人材の育成を支援しております。

また、リアルタイムで除雪機械の位置情報を把握できるGPS端末を活用し、今年度から市ホームページ上で除雪の実施状況を順次公開する予定としており、市民の皆様には、パソコンやスマートフォンなどを用いて、

通学や通勤、物流などの経路の選定に活用していただくことで、渋滞の緩和や通行の安全が確保されます。さらには、除雪の遅れている場所に対し、例えば、別の地域の（除雪が）早く終わったところから除雪の応援に行くことも可能になりますし、除雪作業の完了したエリアも確認できます。除雪作業の効率化が一層図られると認識しております。冬期における安全で安心な道路交通の確保に寄与することに期待を寄せております。

---

記者

A I 顔認証システムを利用した社会実験について、一定の効果を検証されるということですが、これは認められれば他のところにも拡大したいという思いがあるのでしょうか。

市長

もちろん拡大したいということではありますが、現在、(バスの) 交通事業者は、コミュニティバスは市営コミュニティバスでありますし、富山地方鉄道もあります。鉄軌道を入れれば、あいの風とやま鉄道やJ R 高山本線もあります。その運営会社が違うということで、一度に全域にとということにはならないと思います。

一つの大きな問題は決済です。それぞれに決済システムがあり、それと紐づいた金融機関の問題もあります。そのような一つ一つの問題をクリアすることが大事ですので、まずは小さいエリアでやってみて、アンケート結果も含めて良い結果が得られれば、順次、手の行き届くところから、他のエリアでもやりながら（検証していきたいと思います）。将来的には、やはり単独でそこ（決められた交通機関）だけ使うということではなく、通勤にしても通学にしても複数の交通機関が使われますので、全て顔認証で目的地まで行ける、または帰って来られるということが、富山市の目指すスマートシティの姿ではないかと思っています。

記者

2 年程前に顔認証システムの試験的なものを飲食店や店舗で実施されたと思いますが、今回、公共交通機関にターゲットを絞られた理由を教えてください。

市長

やはり公共交通機関の乗車人数も増やしたいですし、（公共交通機関を）活性化させるという意味（もあります）。一方、住民の方からすれば、交通機関によって定期券が異なったり、その都度キャッシュで支払うにしても料金が違ったりする、そのようなことはやはり煩わしいわけです。ですので、一番のところは、一般の住民の方々が公共交通を使う（際の）利便性をさらに向上させたいという思いがあります。

---

記者

新型コロナウイルス感染症について伺います。先月末頃から感染者数が増加傾向にあると思いますが、これから忘年会シーズンなどが来る中、その状況をどのように見ていらっしゃいますか。また、県民に伝えたいことがあればお願いします。

市長

政府の方でも方針が出ておりますし、県の方でもそれに準じた方針だと思いますが、今回、新型コロナウイルスに関して、年末年始はよほどのことがない限り規制をかけないという方針だと思います。

富山市（において）も、できれば新型コロナウイルスワクチンを早く接種していただく、そして会食の席では、話すときはマスクを着用していただいたり、パーテーションを利用していただいたり、従来の手指消毒もそうであります。感染対策をしっかりしていただいて、忘年会、新年会を開催していただくと。（開催を）奨励するわけではありませんが、気をつけて開催していただければいいのではないかと考えております。

---

記者

A I 顔認証システムを活用した社会実験について伺います。社会実験の場所に八尾地域を選ばれた理由を教えてください

市長

社会実験の場所ですが、市営八尾コミュニティバスの環状線は、今回のA I 顔認証（システムを活用した社会実験）の前にダイヤ改正を行い、巡回の本数を増やしました。そのようなところでもありますし、郊外の中の団子の中の一つであるということも、選定理由の一つであります。

団子と串のコンパクトシティの構造の中で、八尾近辺、環状線の近辺は、団子に当たる部分（であること）が一つにあるということ、あとは地域性があるということです。

加えて、一定の利用者数が見込めるということが実験の前提条件になりますので、そのようなことも加味して選びました。

記者

近隣や全国の自治体で同じような取組が行われているところがありますか。もし、参考にされた例があれば、教えてください。

活力都市創造部長

路線バスでは、千葉県佐倉市で実証実験を行っています。

=====

記者

昨日、日医工の社長退任や東証の上場廃止ということが発表されましたが、市長としての受け止めをお聞かせください。

市長

社長はご自身で勇退されると発表されたというように報道されていますが、3月までは責任を果たしたいという報道もされておりますし、しっかりと再建に向けて取り組んでいらっしゃることを認識しています。

その上で、田村社長は富山県の経済を牽引されてきた企業経営者の1人です。その方が退任されるということは、個人的には、寂しいというか、残念だなという気持ちはあります。

記者

日医工は今後、再建に向けて、雇用の合理化をしていくことも考えられますが、そういった中で富山市として（何か）対応を検討されていますか。

市長

雇用の関係については心配していますが、今は再建の途上であり、この先どうなるかまだわからないので、具体的な検討はしておりません。ただし、今後、再建していく中で、今おっしゃられたような雇用に関する削減などがあれば、富山市民にも日医工にお勤めの方がたくさんいらっしゃると思いますので、富山市に相談があった場合は真摯に相談に応じてまいりたいと思っています。

---

記者

日医工の（社長退任や上場廃止の）発表や広貫堂の処分に関する発表などがありました。富山市では今年度も中学生・高校生に（薬都とやまに関する）コンテストを行うなど、これまでも「薬都とやま」、「くすりのまち」ということを発信していると思いますが、富山市として今後、盛り上げる（ためにできる）ことや、その信頼回復に関して取り組みたいことについて考えをお聞かせください。

市長

第一義的には、日医工は債務超過の状態ということですので、健全経営のレベルに早く回復していただくということを願っております。

廣貫堂も現在、（業務）停止の状態ということですが、廣貫堂は、漢方や生薬、和漢を含めた富山県を代表する（製薬）企業であると認識しております。富山県の薬業の基礎となった、富山藩の反魂丹ほんごんたん役所、これはまさに廣貫堂の前身であり、そういう精神や、富山県に薬業が根付いたルーツでありますので、ここはしっかりと信頼回復に向けて邁進まいしんしていただきたいと思っています。

その上で、従来（から）薬産業は、富山市あるいは富山県の経済を引っ張ってききましたので、信頼回復に向けた情報発信、薬の歴史や先進的な取組で私たちがその情報発信やPRについてできることがあれば、もちろんお手伝いさせていただきたいと思っています。



## 記者

日医工（の発表）に関連して、経済への影響について伺います。昨日、決算や上場廃止になる（見通し）ということが発表されましたが、富山市の経済に対する影響はどのようにお考えですか。

## 市長

富山市にとって今後想定しうることとしては、やはり経済的な影響、その中でも、例えば中長期的に見れば、法人市民税や個人市民税です。給料や従業員の年収などが下がってくることによって、そのような影響も出てくるかもしれません。

ただ、上場廃止になった影響がすぐにどう出るかということは、ここでコメントはできないと思いますが、業績が悪化することによって、今言ったような影響が出てくるというように考えています。

また、経済へのインパクトですが、今言った富山市の税収減ということもそうですが、富山市民（の方）には日医工に勤める方がたくさんいらっしゃいますので、そのような方の収入が減れば、消費も減っていくということですので、経済的には良い影響よりも悪い影響がたくさんあると思っています。

加えて、日医工は県内のリーディングカンパニーでありますので、その取引業者が富山市にはたくさんあるわけです。そのような方々に今後どのような影響があるかということも含めて、今後の状況を注視していきたいと思っております。

---

※発言内容を一部整理して掲載しています。・・・富山市広報課